

2018年10月11日

【格付維持】

大日本住友製薬

発行体格付： A [格付の方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

住友化学（証券コード：4005、発行体格付=A）の連結子会社。格付は同グループの信用力に一定の影響を受けるが、事業面のつながりが限定的なことや、経営の独立性が一定程度確保されている点を考慮し、大日本住友製薬自体の収益基盤・財務基盤の評価を反映している。

医薬品事業が収益の大半を稼ぐ。自社製品で主力の非定型抗精神病薬「ラツダ」が米国展開で成功し、業績を牽引している。地域別の売上構成比は、北米を中心に海外が6割以上を占める。再生・細胞医薬分野は、研究開発や製造体制の整備が進んでいるが、現時点では事業化の途上にある。

財務は実質無借金で、資本負債構成は良好だ。過去の買収に伴い、のれんと無形資産が自己資本の6割程度を占めるが、損失を計上した場合でも一定の財務バランスを維持できる耐久力はある。一方、収益力は格付に見合っているが、収益の柱であるラツダの動向に大きな影響を受ける。

ラツダは2019年1月に物質特許による独占期間が満了する予定。2017年度に成立した用途特許および製剤特許に関して、後発品メーカーに特許侵害訴訟を提起しているが、特許による保護が継続せずに後発品が参入する場合には、収益が大幅に減少する可能性が高い。新薬候補の上市やコスト抑制で収益減を緩和する考えだが、直近で新薬候補の1つが承認見送りなるなど十分な対策が打てるか不透明だ。訴訟の結果次第では、格付への下押し圧力が強まることになろう。

【格付対象】

発行者：大日本住友製薬（証券コード：4506）

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	A（維持）	安定的

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先：経営企画室（広報担当） TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	西元 純
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	住田 直伸

信用格付を付与した日	2018年10月05日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2018.05.31] 医薬品 [2015.05.28] 親会社と子会社の格付の考え方 [2017.12.13]
上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html	
評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html	
格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html	
格付関係者	大日本住友製薬
注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。	
利用した主要な情報 品質確保のための措置 情報提供者	決算書類、開示情報 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。 格付関係者
信用格付の前提、意義及び限界 R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。 R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を保留したり、取り下げたりすることがあります。 利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。	